

所長の部屋



所長のひとことアドバイス

タイトル 健康診断結果への対応(2) AST(GOT)

[2017年8月]

今回から各論です。まずは採血結果の中のAST(GOT)から解説します。過去の健診データ等を取り出して、見比べながらこの文書を読んで頂くと役立つかと思います。

ASTは身体の多くの細胞内にある酵素で、GOTとも呼びます。正常値は35IU/L程度までで(検査器械により多少違います)、高値になると要注意です。ASTは特に筋肉や肝臓などの細胞内に多くあるので、これらの障害で血中濃度が上昇します。例えば心筋梗塞や筋肉損傷でも高値になりますが、通常これらは胸痛や筋肉痛を伴うので、症状のない人が健診でAST高値の場合は、肝障害のことが多いようです。肝障害の原因としては、肝臓自体の疾患と、肝臓から出る総胆管の障害(総胆管結石・胆管癌・膵頭部癌など)が考えられます。次回詳しく書きます。

AST高値の場合は、次回にお話しするALT(GPT)も高値の場合が多いです。ALTはASTと同様に細胞内の酵素ですが、ALTの方がより肝臓に特に多く存在しますので、肝障害の場合は通常AST<ALTとなります。逆にAST>ALTとなるのは一部の肝疾患(アルコール性肝障害、肝硬変、肝臓癌など)と、肝臓以外の疾患(心筋梗塞など)です。(つづく)